

## 宮脇遺跡 第55地点・第57地点

遺跡名	宮脇遺跡
よみがな	みやわきいせき
調査地点	第55地点・第57地点
主な時代	平安時代
調査地	(第55地点) 富士見市羽沢3丁目1562-2、1561-14の一部 (第57地点) 富士見市羽沢3丁目1561-14の一部
調査面積	(第55地点) 475.26㎡ (第57地点) 472.11㎡
調査期間	(第55地点) 平成30年4月23日～5月1日 (第57地点) 平成30年8月10日～8月21日
調査内容	<p><b>【確認された主な遺構】</b> (第55地点) 平安時代の竪穴住居跡1軒、溝跡1条 (第57地点) 平安時代の竪穴住居跡2軒</p> <p><b>【出土した主な遺物】</b> 平安時代の須恵器坏、土師器甕、</p> <p><b>【概要】</b> 宮脇遺跡は、北側に荒川低地、南側に富士見江川支流の権平川により形成された谷を臨んだ武蔵野台地縁辺部に立地し、東側には現在も水が湧く小谷を臨んでいます。これまでの調査により、縄文時代前期から中期の竪穴住居跡、平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが多数確認されています。特に第17地点からは鑄造工房跡が確認され仏具の鑄型などが出土しています。</p> <p>今回調査した第55地点と第57地点は隣あった発掘現場で、計3軒の平安時代の竪穴住居跡が検出されています。住居跡はほぼ等間隔で横並びに位置していました。これまでの調査結果から判断すると本地点が平安時代集落跡のほぼ北限と思われます。</p>



平安時代の竪穴住居跡 (第55地点)



カマドの前面から出土した土器 (第55地点)



平安時代の竪穴住居跡 (第57地点)



住居跡から出土した土器 (第57地点)